

2025年2月21日
文責 小西 一郎
(商大応援団後援会)

●1 次会

- (1) 日時 2025年2月19日(水)18時30分～20時30分
- (2) 会場 三川屋会館 札幌 7階 平安
札幌市中央南3条西5丁目17番地
- (3) 出席者 合計38名 (小樽商科大学 24名・北海道大学 14名)

●2 次会

- (1) 日時 2025年2月19日(水)21時00分～
- (2) 会場 怪物ランド 札幌市中央区南6条西4丁目5 タカセビル
- (3) 出席者 合計9名 (小樽商科大学 6名・北海道大学 3名)

1. 1次会

2009(平成21)年1月24日の商大と北大の交流会が機縁の此の会。今年は北大が主幹事となり、北海道延齢会の村田勝事務局長(昭和57年入学)の司会進行により開会となりました。



開会のご挨拶は北海道延齢会の千川浩治会長(昭和40年入学)。伝教大師最澄の教えである忘己利他^{もうこりた}について述べられ、北大応援団に入り自分本位を正すことが出来た、現役学生には一騎当千の気概を持って欲しいとのお言葉を頂戴しました。乾杯のご発声とご挨拶は、小樽商科大学応援団後援会の八尾稔啓会長(昭和52年入学)でした。



今年も商大の大橋良太郎先輩（昭和 54 年入学）が本別町から久保田の萬寿、一升瓶をお贈り下さいました。其のお蔭でしょう、早々からお酒が進み、開宴 25 分にして酒宴は ^{たけなわ} 酣、老若男女、両校交歓の輪が広がります。



開始 40 分、恒例のスピーチタイム開始です。

最初は北大応援団。1 年生の神馬真史君（沖縄出身）、1 年目の劉浩甫君（愛知出身）、そして今年の対面式団長だった 2 年生の笹岡瑛人君が登壇しました。



続いて商大応援団の番。今年の、小樽での対面式を挙げる、第 111 代参謀の経森悠生君、第 111 代団旗長兼演舞長の花優子が自己紹介エールを切りました。





昨年 7 月 6 日の対面式を執り行った第 110 代参謀の大西勇樹君、団長の横本新君と続き、最後は第 108 代団長の森田亘佐が締めました。

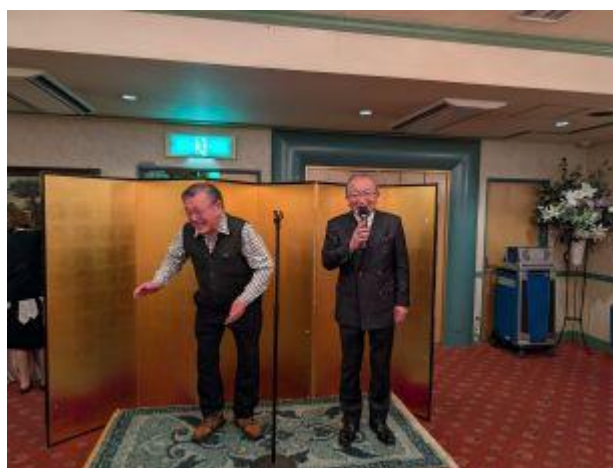


Gentleman の北海道延齢会幹事の木山邦樹先輩（昭和 52 年入学）は、周囲から本当

に応援団だったの？と尋ねられるとか！商大の中野里美さん(平成 25 年入学)からは、今年も対面式では両校が大勝利を収めることを願って居ます、との熱いエールが！北大の谷博文先生は土佐高校から北大にご入学、現在、応援団顧問でいらっしゃいます。商大応援団監督の大坂則幸君(平成 4 年入学)からは、一度途絶えた経緯等、団を存続させる上で脆弱な面が否めずOBのサポートが必要なこと、対面式を続けてくれることで毎年美味しい酒を飲ませてくれる現役学生に感謝の言葉が述べられました。



北海道延齢会幹事の山下徹先輩(昭和 52 年入学)は、昔の怖かった両校の交流会について言及、其れを通して商大と親密な関係を築いていったこととお話下さいました。



そんな仲の良い両校を象徴するスピーチが最後に！小樽商科大学応援団後援会の浅野百樹副会長(昭和 43 年入学)は、北大の同期の団長が智明寮に一月住み込み、今で言う「反社」の方にリベンジすべく商大空手部に通った話を披露。呼ばれて登壇された北海道延齢会の大谷文昭代表幹事(昭和 43 年入学)は、逆に浅野先輩が恵迪寮に長らく居候されて居たことが「明らか」にされたのでした

閉会の辞は、北大の大谷文昭先輩から頂戴致しました。

照明を落とし、一同円陣を組み、商大「若人逍遙の歌」と北大「都ぞ弥生」を斉唱。
エール交換の後、両校仲良く集合写真を撮りました。



2. 2次会

1次会終了後、商大6名と北大3名がすすきのにある怪物ランドで二次会を開催！両校の交歓は夜が更けても続きました。



以上